

香港手話における掌を上に向ける否定表現：手話かジェスチャーか

ブランダ・ウー・ワイ・ラン

(香港中文大学手話言語学&ろう者学センター)

本発表では、香港手話に現れる、掌を上に向ける否定表現について述べる。この表現は、単なるジェスチャーではなく手話単語であると考えられる。この表現は拘束形態素であり、構成素の否定にあたって、開いた「5」の手形と、さらに掌の方向の変化を付け加えるものである。これは否定の接尾辞であり、否定の形態素の一部をなす。この否定接辞は、名詞、動詞および形容詞に付加され得る。香港手話における掌を上に向ける否定表現は、「～でない」と「～がない」の二つの意味を持つ。この否定接辞が使用された際、聾者話者の年齢によって解釈の違いが見られる。